

三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境講座はお近くでも開催できます

学校の先生の場合	地域活動団体の場合	自治体の場合
スキルアップにご利用ください。	メンバーの環境教育やスキルアップにご利用ください。	市町での環境活動を増やすキッカケ作りにご利用ください。

環境講座は出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください。

講座予定

環境学習指導者養成講座 **環境学習リーダー養成講座**
会場：サン・ワーク津(津市)

ESDアクティビティ体験コース
開催日 1月27日(土) 締切 先着順

ESDファシリテーター養成コース
開催日 2月17日(土)、3月3日(土)、3月17日(土) 締切 先着順

スキルアップ講座 **食品リサイクルは命をつなぐ環**
～企業に学ぶサステナブルな取組～
4月18日(水)

会場 四日市市総合会館(四日市市) 締切 先着順
内容 一般家庭から出る食品廃棄物の量は、食品ロスの総量で大きな割合を占めます。ユニー株式会社より講師を招き、企業の食品廃棄物削減対策から、食品ロスの削減について学びます。

環境学習指導者養成講座 **みえ星空環境案内人養成講座**
①2月24日(土)②3月3日(土)③3月17日(土)

会場 三重県環境学習情報センター
四日市市勤労者・市民交流センター
鈴鹿馬子倶楽部、鈴鹿峠自然の家 天文台「童夢」 締切 先着順
内容 星と人と環境のかけ橋になる指導者を養成する連続講座。「星空案内人(星のソムリエ®)」の認定も目指すことができます。*要受講料

スキルアップ講座 **環境県民講座「伊勢湾の再生を考える」**
伊勢湾の漂着ゴミ問題の動向と
最新情報技術を活用した自動モニタリング調査
3月24日(土)午前

会場 三重県総合文化センター(津市) 締切 2月27日(火)
内容 伊勢湾の漂着ゴミの最新の話提供(県大気・水環境課と進めている共同研究の内容も紹介)

環境学習指導者養成講座 **野鳥案内人講座**
(基礎・早春)
3月10日(土)

会場 サン・ワーク津および志登茂川(津市) 締切 2月16日(金)
内容 野鳥を通して、自然の多様性・つながり・人との関わりなどを伝えられる「野鳥案内人」をめざす講座です。普段から野鳥に関心をもって観察している方、野鳥観察会実施のために、基礎的なことを学んでみませんか。

スキルアップ講座 **田んぼが育む生きものと人のかかわり**
3月24日(土)午後

会場 三重県総合文化センター(津市) 締切 2月27日(火)
内容 田んぼがどのように魚たちに利用されてきたのか、現在、田んぼや水路の状況がどのように変わり、魚たちにどう影響しているのかなどのお話です。生物との共存や生物と人との関わり、農村景観などについて考えてみましょう。

スキルアップ講座 **自然災害とどう向き合うか①**
地震・津波
2月22日(木)

会場 津市河芸公民館(津市) 締切 先着順
内容 津地方気象台の東海地震防災官を招き
◇地震・津波のメカニズム
◇「東海地震注意情報」「津波警報・注意報」の情報についてお話いただきます。

環境講座 **松名瀬干潟で環境学習を体験しよう!**
～中高生による干潟の紹介～
3月18日(日)

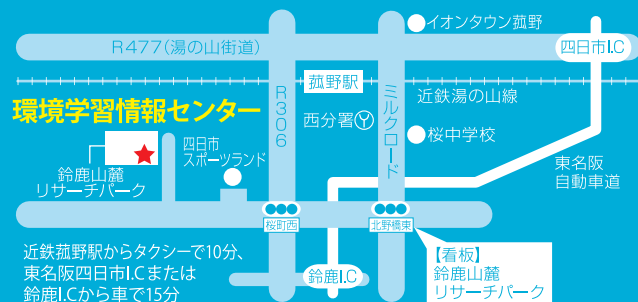
会場 松名瀬干潟(松阪市) 締切 先着順
内容 三重中学校・高等学校科学技術部による
◇松名瀬干潟の概要説明 ◇アサリによる浄化実験 ◇潟湖干潟の生物観察
◇ピーチコーミング ◇ディスカッションなど

講座	開催時期	講座	開催時期
スキルアップ講座 自然災害とどう向き合うか② 地域防災力をいかに高めるか?～考え方と事例紹介～	3月18日(日)	環境講座 春のバードウォッチング	5月6日(日)
環境学習指導者養成講座 インタープリター養成講座	4月7日(土)・14日(土) 5月12日(土)・26日(土)	環境講座 エコぞうウォーク	4月1日(日)・5月20日(日) 9月2日(日)・11月11日(日)
子ども環境講座 自然は何色?染めてみよう!!～たまねぎ編～	4月8日(日)	環境工房 アオヅルを使った籠づくり	4月28日(土) 午前・午後

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越しください



Facebook @eco_zou

編集後記：行政も企業も学校もSDGsに向けた取組を始めています。取り組む主体が変わり視点が変わると実践もそれぞれ。広い視野を持つていなければならないと思います。生田久美